

文久三年十一月廿日より文久三年十一月廿四日まで

P8311058 right

山本(長)鋳児訪問に来る、寺山(佐)来る、須崎、本日転宅の趣に付柳亭へ託し□一折遣す、出殿
早退出

伊藤伯母上白米と柑を携へ旧北堂方へ来る、山田三郎請状申付る、久左衛門より鋳児へ菓子

手遊もの□

贈す、医道玄来る、一杯を勧む、

廿一日子 晴

上田(友)志願筋にて来る、午時より出 殿、黄窪より良造して、鋳児へ菓袋、手遊類贈らる、
良造よりも

同様の品差越す、せき女来り、前同様の品贈らる、山田三郎今日より引移る、刀屋佐次郎、

醤油一樽

栄転を賀贈し来る、賀銀を遣す、牛込より鋳児痘見舞として割烹品(*)一重贈り来る

廿二日丑 晴午下薄陰夕風、夜半過震

長へ洋の内引合風聞■【文字判読不可】■趣□之助より書通以て申来る、泉賢吉見■に来る、

粗極め遣す、前■

筈初て来り面す、下■人品也、出 殿、長蔵来り鋳児へ手遊(菓)品賀贈せし旨、富沢叔母来り、

同断割者火(割烹か?)

P8311058 left

等、三小重持参、永持同断、昆布卷一大重持参、高柳来り麻上下地鳴一羽、栄転賀として贈らる

永持一同酒肴を勧む

廿三日寅 晴

医道玄来る、山本(長)柑一籠持参せり、午時より出 殿、金港より甲筑両員とも昨帰着せし■

薄晩前

退出、寺山より栄転賀として魚数尾贈り越旨、小笠原□州訪病として昨来の鴨一尾へ添物取合せ

遣す、黄窪

では鋳児見舞■手に来り一泊

廿四日卯 晴

水谷(竹)志願筋有し来り面す、出 殿(李国)プロイセン)コンシユル等、俄に品海へ船を廻せし

趣、金川(神奈川)奉行より

申上に付、上陸差留方として三田上陸場へ出張候处、三士官同所に上陸いたし居引合の处、

ミニストルより

閣老への書翰差出に付、受取本船へ為立戻□御返翰有し迄は、当港に船を繋居る旨

*1.割烹品と解説していますが割烹品か。

()内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。